

カンボジア王国 Kingdom of Cambodia

作成日：2020年9月24日

■ 開発計画等

➤ 第3次四辺形戦略(2013年に策定) (Rectangular Strategy)

【経緯】

2004年、フン・セン首相が表明した国家開発戦略である。国の最優先課題として、汚職撲滅、司法改革、行財政改革、国軍改革の4つを取り上げ、それを四辺形になぞらえ、四辺形の中心部に国が目指すべき「良き統治 (good governance)」を置いている。

改革を進めるための最重要要件と位置づけられているのが、平和・政治的安定、マクロ経済安定の強化、持続的開発・貧困削減の推進の3点である。

【全般】

- ✓ 四辺形戦略はカンボジア王国で最上位の国家開発戦略文書であり、成功裏に終わった第1次及び第2次四辺形戦略の構成を活用して、カンボジア政府は社会経済政策課題を提示した第3次四辺形戦略を2013年に発表した。
- ✓ 内容としては、第2次四辺形戦略の達成事項・課題を提示した上で、四つの戦略的目標、そのための4つの実施指針（農業セクター開発、ハードインフラ開発、民間セクター開発と雇用、能力強化と人材開発）を述べている。
- ✓ 上述4つの戦略的目標は以下の通り。
 - ① 経済基盤の多様化により競争力のある仕組みを構築し年平均経済成長率を7%とする。
 - ② 国内外の投資を促進するためのカンボジアの競争力を改善することでより多くの雇用を創出する。
 - ③ 1%ポイント以上の年間貧困発生を削減するとともに、人材開発及び環境・自然資源の持続的な管理・活用を行う。
 - ④ 国及び地方レベルにおける制度及びガバナンスのさらなる強化を行い、公共サービスの効果及び効率性を確かにする。

【環境関連】

分野横断的な視点による好ましい環境づくりが本戦略の成功の基礎となるという考えのもと、環境及び気候変動を持続的な経済・社会成長のための分野横断的な課題の一つとしてとらえる。本課題への対応策として以下が提示されている。

- 自然資源の持続的な管理
- 適応能力及び回復力を高めることにより気候変動の影響を削減する取り組みを強化する。特に、「グリーン開発に係る国家政策及び国家戦略計画（2013-2030）」を実施することにより対応する。
- 国家及び地方レベルの政策、法律や計画において気候変動対応の主流化を促進するために技術及び制度能力強化を継続する
- 環境及び生態系汚染の管理対策の導入を継続する

上述 4 つの実施指針の中の「農業セクター開発」の文脈において、「自然資源の持続的 management」について述べられている。

詳細について、以下の項目が含まれている。

- 開発と環境保全のバランスを取り自然資源の管理を強化するため、グリーン成長と気候変動の仕組みのもと関係者との協力を推進する等を掲げている。
- その中で優先事項には、「グリーン開発に係る国家政策及び国家戦略計画（2013-2030）」の枠組みのもと開発ステークホルダーとの協力を推進するとしています。具体的には、カーボントレーディングメカニズムと規制枠組みの策定や気候変動適応対策にかかる能力・準備及び実施の強化などが挙げられている。

また、上述 4 つの実施指針の中の「ハードインフラ開発」にて、以下が述べられている。

- 交通・都市インフラ開発：経済効率・競争力、人々の利便性や環境的持続性のために都市部の公共交通や生産拠点との接続性向上のため都市インフラ開発マスタープランを策定する。本マスタープランは、固形及び液体廃棄物管理システムの導入など土地管理及び都市計画の枠組みと合致したものとなる。
- 電力開発：カンボジア政府は電力供給エリア（2020 年までに全ての村がナショナルグリッドまたは別の電源で電化される）を拡大し、電力料金より安価にしかつ制度メカニズムと管理能力を強化することを目標とする。特に、新しく、クリーンなエネルギー源を活用し、より安価でハイテクな電力生産を拡大する。

（出典：Rectangular Strategy-Phase III（カンボジア開発評議会））

➤ 国家戦略開発計画（NSDP 2014-2018）

【経緯】

四辺形戦略が表明される以前、カンボジアでは「第 2 次社会経済開発計画（SEDPII 2001-2005）」と「国家貧困削減戦略（National Poverty Reduction Strategy 2003-2005：NPRS）」という 2 つの国家計画が策定され、これらに基づいて開発が推進されてきた。2004 年に四辺形戦略が発表されたため、国家計画もそれに沿って見直された結果、2006 年に社会経済開発計画と国家貧困削減戦略を統合した、「国家戦略開発計画（National Strategic Development Plan 2006-2010 年：NSDP）」が策定された。この計画はその後、第 4 期フン・セン政権任期である 2018 年まで延長されている。

【全般】

- 本計画は第 3 次四辺形戦略の実施のために策定されたものであり、前 NSDP の主な達成事項と課題、NSDP（2014-2018）のためのマクロ経済フレームワーク、優先政策行動、指標、実施のタイムフレームなどを提示している。
- 優先政策行動としては、ガバナンス関連、農業セクター開発、インフラ開発などが掲げられている。

【環境関連】

- 環境保全、グリーン成長や気候変動対策などは主に農業セクター開発の文脈で捉えられており、開発と環境保護のバランスを取るよう自然資源管理をより強化することを政策目標として掲げている。
- 具体的な政策アクションとしては以下などが提示されている。
 - ① 環境省は、カンボジア気候変動戦略計画 2014-2023 の実施、持続的な経済成長に資するグリーン

成長及び低炭素開発戦略の採択、温室効果ガス排出量削減のための気候変動・緩和対策の採択などを検討する。

- ② 環境省は、気候変動に係る法的枠組み（制度、財政や各セクターにおける気候変動の主流化など）、グリーン成長に係る法律や廃棄物となった電化製品管理に係る閣僚会議令の作成をする。また、排水管理に係る通達を地方自治体へ発出すること、固形廃棄物の科学的な収集、輸送、リサイクル及び廃棄に係る通達を発出することも挙げられている。
- ③ 環境省は、工場や企業からの排水による汚染をモニタリングする。
- ④ カンボジア政府は、カンボジア気候変動戦略計画 2014-2023 の完全実施に尽力する。
- ⑤ カンボジア政府はグリーン成長戦略やグリーン成長に係る国家戦略計画 2013-2030 のとおり、グリーン成長指針に基づいた経済開発に尽力する。グリーン成長戦略で提案されている活動にグリーン技術を活用するグリーン投資の推進も挙げられている。

（出典： National Strategic Development Plan（NSDP） 2014-2018（カンボジア計画省））

➤ 国家戦略開発計画（NSDP 2019-2023）

【全般】

- この 2019 年から始まっている 5 年計画は、未来のカンボジアが先進国となるために必要な開発プランになっている。
- カンボジアは、2030 年までに低中所得国から高中所得国に、2050 年には高所得国になり先進国入りすることを目指している。
- RS4 に基づく政府全体の重点政策をまとめたもので、RS4 の第 1 分野「人的資源開発」に関するものとして、「科学技術教育の質の強化」、「技術訓練（technical skills training）」、「公衆衛生サービスや栄養の促進」、「ジェンダー平等や社会的保護の強化」の 4 項目が位置づけられている。
- このうち、技術訓練については、5 つの優先事項が記載されている。
 - ① ディプロマ以上の訓練の促進
 - ② 訓練校と産業界の連携強化
 - ③ 技術訓練センターの整備
 - ④ TVET 施設の開発
 - ⑤ 中学・高校教育での仕事へのオリエンテーション）とともに、4 つの活動（外国での労働、TVET の開発、生産性向上、結社の自由）

（参考） Joint Monitoring Indicators（JMIs: モニタリング指標）

【モニタリング】

- 2019 年 9 月、5 年間（2019 年から 2023 年）の政府の活動のうち、特にモニターしていくものとして、最初の 2 年間（2019 年及び 2020 年）のアウトプット指標が定められた。
- RS4 の第 1 分野「人的資源開発」は、教育、TVET、健康、HIV/AIDS、社会的保護・食糧保障及び栄養、ジェンダー、地方の水供給・衛生の 7 項目により構成されています。
- TVET については、①労働市場の需要に見合った質の改善、②社会経済開発を支える（量的）拡大、③持続性を踏まえた PPP 及びパートナーとの協調の強化が 3 つのアウトプットとされ、それぞれについて数値目標が

設定された。

➤ **グリーン開発に係る国家政策及び国家戦略計画 2013-2030（2013年）**

(National Policy on Green Development and National Strategic Plan on Green Development 2013-2030)

本政策は、経済開発の取り組みと環境保護、文化保全、社会的安定や自然資源の持続的な消費とのバランスを取り、人々の生活状況や福祉を改善していくとしています。グリーン開発計画（2013-2030）では、自然資源の効果的な使用、環境的持続性、グリーン雇用、グリーン技術、グリーン金融、グリーン貸付（クレジット）、グリーン投資などによりグリーン経済を開発していくことを目指しています。

（出典： Cambodia adopts 2013-2030 green growth plan (GGGI)